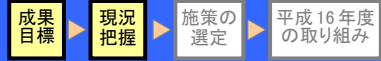


(4) 産業団地から高速ICまでの20分アクセス率



● アウトカム指標の位置づけ

広島県の基幹産業である製造業を支えるため、産業団地と高速ICを短時間で結ぶとともに定時性を確保し、自動車による貨物輸送の効率化を図るため、産業団地から高速ICまでの20分アクセス率を、アクセス改善のための指標として採用しました。この指標は、高速IC（高規格幹線道路IC）まで20分以内にアクセス可能な産業団地^{注1)}の割合として表されます。

注1) 広島県に届出のあった全ての工業団地及び流通団地

● 現況値と目標値

産業団地から高速ICまでの20分アクセス率

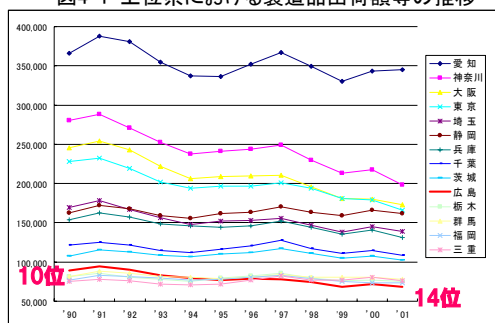


● 現況把握

広島県内における多くの産業団地は、高速道路のIC周辺に立地していますが、広島市や呉市等、臨海部の産業団地は高速道路まで遠く、かつアクセス道路も不十分であるため、高速ICまで時間がかかる状況となっており、産業団地から高速ICまでの20分アクセス率は72%です。高速IC20分交通圏に含まれていない産業団地は、県内に28団地ありますが、そのうち約7割の20団地が、広島市や呉市等に集中しています。

広島県の製造品出荷額等の推移についてみると、広島県は1990年でトップ10に位置していましたが、上位の都道府県が2001年時点においても上位を維持している中で、広島県は製造品出荷額等が年々減少しています。

図4-1 上位県における製造品出荷額等の推移



グラフ内の順位は、1990年と2001年の全国順位。
 資料：工業統計調査、経済産業省

図4-2 産業団地から高速ICへの20分アクセス(現況)



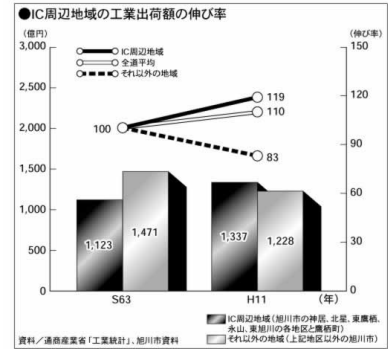
広島・呉地域でアクセス不可能な地域が多い

【産業団地】
 緑 高速ICへ20分以内にアクセス可能
 赤 高速ICへ20分以内にアクセス不可能

(4) 産業団地から高速ICまでの20分アクセス率

● 施策の選定

高速IC周辺の産業団地は、工業出荷額の伸びがIC周辺以外の地域と比較して上回っています【図4-3】。広島、東広島、呉の3地域は、産業団地が多数立地しているのにも関わらず、その多くが高速IC20分交通圏^{注2)}に含まれていないため、山陽自動車道の高速ICまでのアクセスを確保する路線を整備し、高速ICまでのアクセス時間の短縮を図ることで、自動車物流の高速性・定時性の確保に寄与します。



注2)市町村中心地から高速ICに20分で到達できる交通圏のことで、地域発展プラン(2002.5.14)による

出典：高速道路整備効果事例,国土交通省
 図4-3 高速IC地域の工業出荷額の伸び率

高速ICまでのアクセスルートを確認する

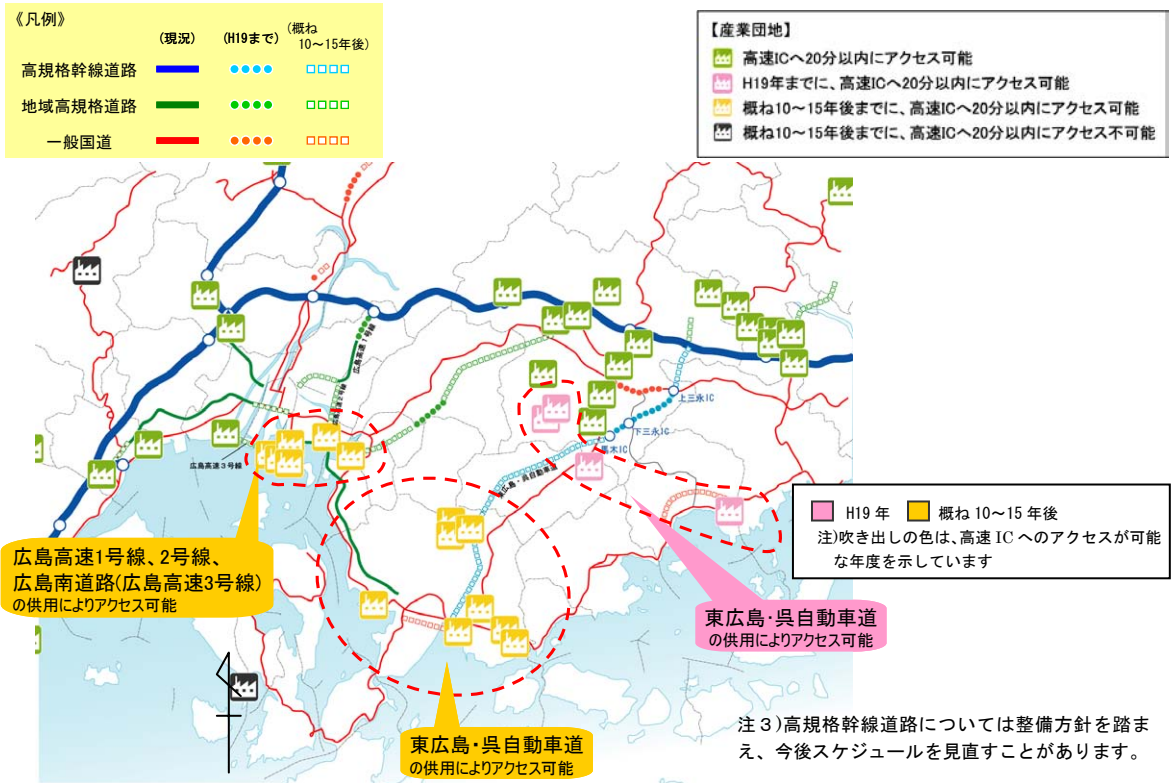


図4-4 産業団地から高速ICへの20分アクセス(将来)

概ね 10~15年後：89%

● 平成16年度の取り組み

平成16年度も、山陽自動車道及び中国自動車道の高速ICまでの高速アクセスを確保する東広島・呉自動車道、中国横断自動車道尾道松江線、広島高速道路の整備及び特定重要港湾広島港や重要港湾呉港から高速ICまでを連絡する広島南道路や東広島・呉自動車道の整備を進めていきます。